



森城



南から中央の丘陵が森城
右隣丘陵が国史跡上山田貝塚、背後に宝達山が見える

所在地：石川県かほく市森
立地：丘陵頂部、標高23m
城主：村上氏
時期：戦国
見学時間（参考）：約15分

平野部の独立した小丘に占地する。城跡には昭和25年（1950）に社号を八幡社から改称した八幡神社が鎮座している。城主は村上右衛門、あるいは村上次郎左衛門（八郎左衛門）と地元では伝承される。故墟考は津幡町の龍ヶ峰城の城主として村上右衛門を伝えており、同一人物、あるいは同時代の一族の者だとすると一向一揆の将ということになるのか。



八幡神社の参道を登る

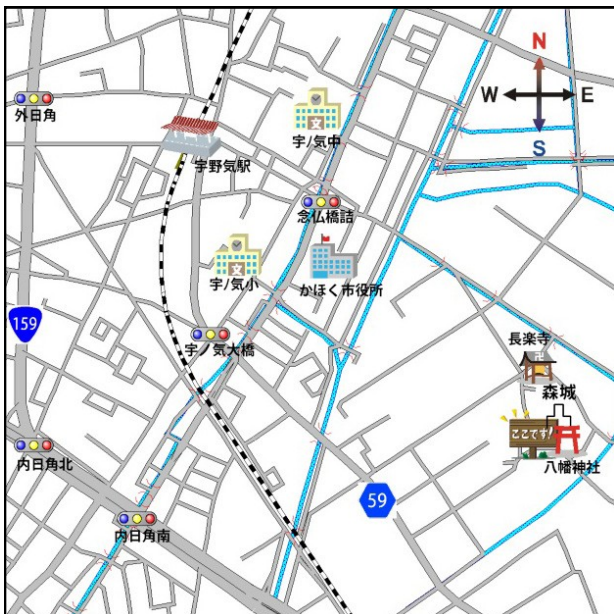


参道も堀切道か？

山頂の八幡神社の社殿が建つ削平地が主郭、隣接して一段低い曲輪が設けられる。主郭の西側に途切れた土塁が残っており、かつては主郭を全周していたと推定される。南側から登る参道と主郭を挟んだ北側にも道が残り、現在は藪に覆われて使われていないようだが下りていくと北麓の住宅裏まで続いている。道の両側が切り立っていて堀切道と考えられるが、北方からの参道として使われ多少改変されている可能性も残る。現在の参道も遺構は破壊されているが、同様に南方からの堀切道であったことも考えられる。



主郭には八幡神社が鎮座する



主郭西方の土塁と櫓台



北西尾根の堀切道

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>